

子どもの定期予防接種の種類と対象年齢

- **対象年齢**・・・無料（全額公費負担）で接種できる年齢
- **標準的接種年齢(期間)**・・・接種をお勧めする年齢（期間）
- **接種開始年齢**・・・小児用肺炎球菌は、接種開始年齢によって接種回数異なります。

種類	対象年齢		接種間隔	接種回数	
		接種開始年齢			
ロタウイルス (※1)	ロタリックス (1価)	出生6週から24週0日までの間に、27日(4週間)以上の間隔をあけて2回接種する。(初回標準的接種期間：生後2か月から出生15週未満)		2回	
	ロタテック (5価)	出生6週から32週0日までの間に、27日(4週間)以上の間隔をあけて3回接種する。(初回標準的接種期間：生後2か月から出生15週未満)		3回	
B型肝炎	1歳未満の間に、1回目の接種から27日以上の間隔をあけて2回目、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて3回目の接種を受ける。 (標準的接種期間：生後2か月以上生後9か月未満)			3回	
小児用肺炎球菌	生後2か月以上 生後60か月(5歳) 未満	生後2か月以上 生後7か月未満	初回 生後12か月未満の間に、27日(4週間)以上の間隔をあけて3回接種を受ける(※2)。	3回	
			追加 初回接種終了後、60日以上の間隔をあけて、生後12か月以降に1回接種を受ける。	1回	
	(標準的接種 開始年齢： 生後2か月以上 生後7か月未満)	生後7か月以上 生後12か月未満	初回 生後12か月未満の間に、27日(4週間)以上の間隔をあけて2回接種を受ける。(※3)。	2回	
			追加 初回接種終了後、60日以上の間隔をあけて、生後12か月以降に1回接種を受ける。	1回	
		生後12か月以上 生後24か月未満	60日以上の間隔をあけて2回接種を受ける。		2回
		生後24か月以上 生後60か月未満			1回
五種混合 【ジフテリア・百日せき ・破傷風・ポリオ・ヒ ブ】(※4)	1期 初回	生後2か月以上生後90か月(7歳6か月)未満の間に、20日(3週間)以上の間隔をあけて3回接種を受ける。 (標準的接種期間：生後2か月以上7か月未満)		3回	
	1期 追加	生後2か月以上生後90か月(7歳6か月)未満の間に、1期初回終了後、6か月以上の間隔をあけて1回接種を受ける。 (標準的接種期間：1期初回接種終了後、6か月以上18か月未満)		1回	
二種混合 【ジフテリア・破傷風】	2期	11歳以上13歳未満の間に、1回接種を受ける。 (標準的接種年齢：11歳)		1回	

※1 例)：3月1日に生まれた方の場合

- ・生後24週0日後：8月16日(ロタリックス接種期間の終了日)
- ・生後32週0日後：10月11日(ロタテック接種期間の終了日)

※2 2回目の接種が生後12か月を超える場合は3回目の接種は受けない。また、2回目の接種が生後24か月を超える場合は、2、3回目の接種を受けない。ただし、いずれも追加接種は可能。

※3 2回目の接種が生後12か月を超える場合は、生後24か月未満の間に接種を受ける。また、2回目の接種が24か月を超える場合は、2回目の接種を受けない。ただし、追加接種は可能。

※4 四種混合ワクチンの製造終了に伴い、既に四種混合又はヒブ予防接種を受けている場合でも、五種混合ワクチンに切り替えて定期予防接種が受けられます。ヒブ単独で予防接種を受ける場合の対象年齢・接種間隔などについては、市ホームページをご確認ください。

(裏面あり)

種類	対象年齢・接種間隔		接種回数
BCG 【結核】	1歳未満の間に、1回接種を受ける。 (標準的接種期間：生後5か月以上生後8か月未満) 〔注意〕生後5か月になる前に接種を希望する場合は、医療機関の医師にご相談ください。		1回
水痘 (みずぼうそう)	初回	生後12か月以上生後36か月(3歳)未満の間に1回接種を受ける。 (標準的接種期間：生後12か月以上生後15か月未満)	1回
	追加	生後12か月以上生後36か月(3歳)未満の間に、初回接種終了後、3か月以上の間隔をあけて1回接種を受ける。 (標準的接種期間：初回接種終了後、6か月以上12か月未満)	1回
麻しん風しん混合 または 麻しんと風しん (※5)	1期	生後12か月以上生後24か月未満の間に、1回接種を受ける。	1回
	2期	5歳以上7歳未満で小学校に入学する前年度の4月1日から3月31日まで(年長児相当)の間に、1回接種を受ける。	1回
日本脳炎	1期 初回	生後6か月以上生後90か月(7歳6か月)未満の間に、6日(1週間)以上28日(4週間)未満の間隔をあけて2回接種を受ける。 (標準的接種年齢：3歳)	2回
	1期 追加	生後6か月以上生後90か月(7歳6か月)未満の間に、1期初回終了後、6か月以上、標準的にはおおむね1年の間隔をあけて1回接種を受ける。 (標準的接種年齢：4歳)	1回
	2期	9歳以上13歳未満の間に、1回接種を受ける。 (標準的接種年齢：9歳)	1回
	特例 措置	<u>平成19年4月1日までに生まれた人</u> で、かつ全4回の接種を終えていない場合は、20歳未満の間に残りの接種を受ける。	残り 回数
	〔注意〕特例措置は、平成17年度から平成21年度にかけての日本脳炎の積極的勧奨(接種のおすすめ)の差し控えにより、接種機会を逸してしまった人のみを対象としたものです。		
子宮頸がん (HPV)	小学6年生から高校1年生に相当する年齢の女子(標準的接種期間：中学1年生相当) 令和8年度においては、平成22年4月2日から平成27年4月1日までに生まれた方		
	1回目の接種を15歳以上で受ける場合	初回接種から2か月後に2回目、初回接種から6か月後に3回目の接種を受ける。	3回
	1回目の接種を15歳未満で受ける場合	初回接種から6か月後に2回目の接種を受ける。	2回
RSウイルス (※6)	妊娠28週0日から36週6日の間に、1回接種を受ける。		1回

※5 原則、麻しん風しん混合での接種となります。

※6 妊娠中に接種することで、母体内で作られた抗体が、胎盤を通して届けられ、生後間もない赤ちゃんをRSウイルス感染症から守る母子免疫ワクチンです。